



日野療護園
フォーシーズン



東京都
社会福祉
事業団



Four Seasons

No.82

2018年11月30日 秋号

発行／編集：日野療護園 〒191-0034 日野市落川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E-mail hinoryo@hinoryo.org HP <http://www.hinoryo.org>

ヒノ フェス HINO FES2018



10月13日（土）にHINO FES 2018を開催しました。
昨年とは違う内容でご参加いただいた方には楽しんで
頂けたかと思ひます。またカラオケ大会を実施し、ご利用者
様とそのご家族の皆様にも楽しんで頂けた HINO FES
2018であったと思ひました。

ご利用者様、職員、地域の方の笑顔の写真などにご協力
くださり、ありがとうございました。



昨年度までの園祭とは内容を大きく変え、「写真展示」や「顔の見える展示コーナー」更に、多摩スマイル
による演奏会や、ビュッフェなど今までに無い企画を考え、ご利用者の方だけでなく、来園されたご家族の方々
にも楽しんで頂けたかと思ひます。午後の部 最後のカラオケ大会では参加されたご利用者様だけでなく、会場
に居た皆さんも一緒に口ずさんだり、体を揺らしながら手拍子して楽しまれているのがとても印象的でした。

今回のHINO FES 2018を開催するにあたって、至らない部分も多くあったかと思ひますが、無事に開催で
きたのは皆さんのご協力があったからだと思います。ありがとうございました。（記：加藤）



もぐさえんえきしょうてんかいあきまつ 百草園駅前商店会秋祭り

9月23日（土）、晴天のこの日、マジオドライビングスクールで開催された、百草園駅前商店会秋祭りにご利用者の皆さんと生産品等の販売をしてきました。

絶好のお祭り日和ということもあり、沢山の出入で賑わっていました。昨年までは、日中活動で生産活動をされているご利用者様と職員とで一緒に販売をするという形をとってきましたが、今年は、生産活動に関係なく、これまで百草園駅前商店会秋祭りに今まで参加されたことがなかったご利用者の方々も一緒にお祭りを楽しんで頂くことにしました。快晴で汗ばむ陽気の中、生産活動で作成した作品販売も順調に進み、ご利用者の皆さんは飲食も楽しみつつ、秋祭りシーズンのスタートに相應しい楽しい1日となりました。（記：田島）



たまりょうごえんこみまつ 多摩療護園木の実祭り

施設交流のある多摩療護園のお祭りに、今年も参加しました。日野療護園として利用者の生産品を販売する傍ら、華やかなステージも見る事ができ、楽しい時間となりました。

イベントではゲームにチャレンジ！高得点を出して盛り上がるご様子やセラピードッグにふれ合い、犬が苦手なご利用者様にも柔らかな笑顔が見られたりと充実した時間を過ごされていました。（記：柴田・田辺・萩原）



しゅうかくさい ごみゼロ収穫祭

日野療護園から約50m北に落川交流センターがあります。中へ入るとまずテニスコートがありますが、その奥にある建物の両側に広がる広大な敷地には、雑木林や田んぼなど昔の里山の世界が広がります。ごみゼロ収穫祭は、まさにこの里山が舞台となります。地域の生ごみ堆肥を使い育てた小麦で作った手打ちうどんや地域産の農産物を味わう、地産地消のお祭りです。また毎年新鮮なさんまを焼いて食べることで有名なのですが、昨年は不漁のため届かなかったさんまでしたが、今年はしっかり届いて、楽しみが増えました。そしてその収穫物を感謝して頂くことの意味として「新嘗祭」も合わせて行われました。

そんなお祭りに今年は、ご利用者様8名・ボランティア2名・職員3名で参加しました。普段からお世話になり、園の秋祭りにも参加して下さる地元の方々と一緒に収穫祭を祝い、何より地域の一員として声を掛けて頂き、参加できたことに感謝しています。

本格的な冬に入る前の忙しくも、心はとても穏やかな一日でした。（記：真木・田島・萩原）



明星大学の学園祭にも行ってきました！

そうごうぼうさいくねん
総合防災訓練



9月27日(木)は、消防隊員の指導の下、日野療護園職員と地域の方が協力し実施する総合防災訓練の予定でしたが雨天の為、中止となりました。

そのかわり、夜間を想定した避難訓練を実施しました。この訓練は夜間帯で発生した火災から夜勤者5名と近隣に住む非常時対応職員でいかに迅速に1棟のご利用者様の避難誘導が出来るのかという動きを確認する為の訓練になっています。

指揮をする職員から指示を受けた各職員が協力し、ご利用者様を安全に怪我なく、無事避難誘導する事が出来ました。訓練後には実際、動いてみた職員からの意見、反省をいただきました。今後の訓練に反映し、活かせるようにしていきたいと思います。(記：田中直哉)



11月に行われた園内避難訓練&消火訓練の様子

えんないけんしゅう かんせんしょうたいさく じっせん
園内研修 感染症対策とその実践について



前半：講義の様子



後半：実技の様子

11月28日(水)に外部講師(感染管理認定看護師)を招いて、「日野療護園(障害者支援施設)における感染症対策とその実践について」をテーマとした園内研修を行いました。

研修前半は、流行しやすい感染症と対策を知ること、感染性胃腸炎(本研修では主にノロウィルス)、インフルエンザの症状(特徴)、感染・発症した際の対策などについて学びました。また、研修後半は、施設で行う標準(基本)予防策である手指衛生(手洗いと消毒)の仕方、実際に吐物などに触れる(処理をする)際の手順とポイントの演習(防護用具の着脱、吐物処理などの実技)を行いました。

日野療護園での感染管理は、①利用者様を感染から守る、②職員を感染から守る、③そして施設を守る、そのためには「職員全員(100人中100人)が必要な感染症対策を実施してないと守れない」という講師の先生の言葉に強く心を打たれました。

園としてもしっかりと感染管理に向けて、正しい知識を持つ機会(学び)、そして訓練していく機会が必要であると再認識させられる貴重な研修でした。(記：山中)



葡萄棚
甲府盆地の
朝かな
八枝子の句



朝日さす
幹に秋蝶
ころがり来
紀美の句



かき氷あづき
たつぷり
夏終わる
るりの句

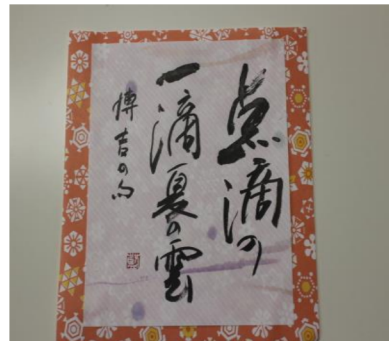
はいくこみかい
俳句（木の実の会）



庫裡の灯も
点し通しの
盆の家
美智子の句



こおろぎの
鳴く声つづく
窓の外
歩美の句



点滴の
一滴夏の雲
博吉の句

